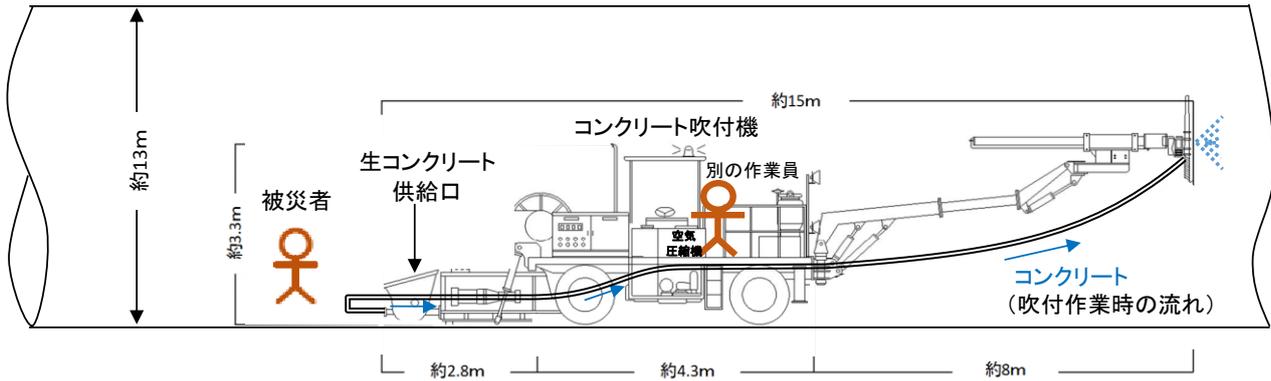
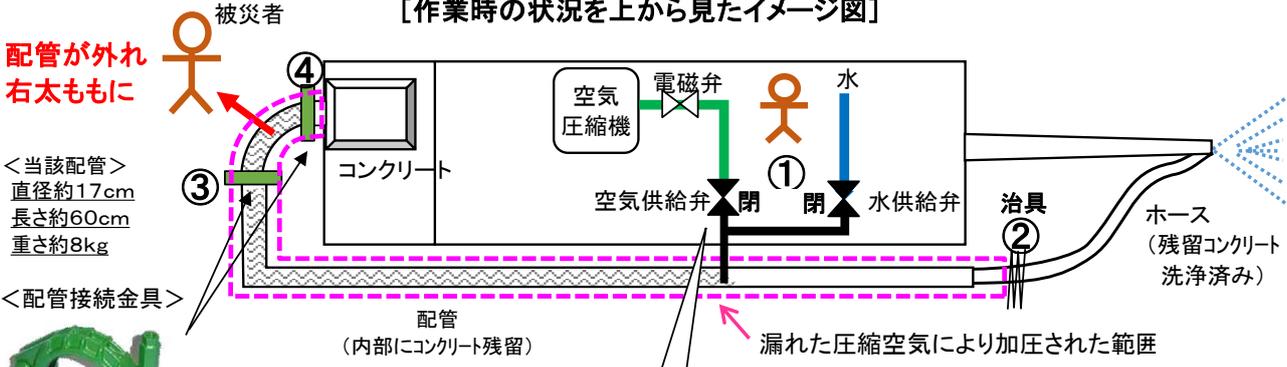


現場状況図



【作業時の状況を上から見たイメージ図】



被災者
配管が外れ
右太ももに

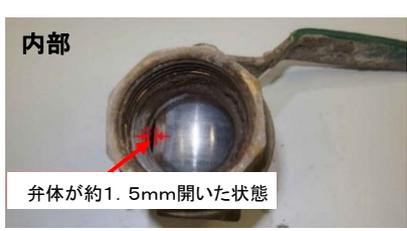
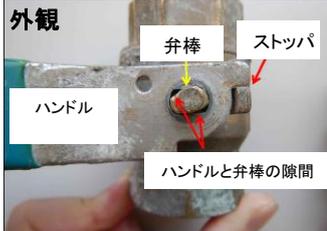
＜当該配管＞
直径約17cm
長さ約60cm
重さ約8kg



＜配管接続金具＞

接続部の凸部を包み込んでボルトで締めることで固定するもの

空気供給弁の点検結果



弁棒のハンドルとの接触面が磨耗して隙間ができ、ハンドルが全閉位置であるにもかかわらず、弁体が全閉となっていない

配管内のコンクリート洗浄作業の手

- ① 圧縮空気供給弁と水供給弁を閉止する。
- ② ホースを折り曲げて治具で固定し、ホース側を閉止する。
- ③ 配管同士の接続金具を緩める。
- ④ コンクリート供給口と配管の接続金具を外す。
配管を回転させて端部を下に向ける。
水と圧縮空気の供給弁を開にする。

洗浄準備のため閉状態としていた圧縮空気供給弁に漏れがあり、配管内が加圧された状態となっていたため当該作業員が配管の接続金具を緩めた際に配管が外れた。

推定原因

洗浄準備のため閉状態としていた圧縮空気供給弁に漏れがあり、配管内が加圧された状態となっていたため当該作業員が配管の接続金具を緩めた際に配管が外れたものと推定しました。

対策

当該弁を新品に取替えるとともに、定期的に弁内面の目視点検を行うこととしました。また、ホースと配管の洗浄時に、当該弁に加えその上流にある弁を閉止するとともに、ホース側を開放した状態で接続金具の取外しを行う手順に変更しました。